

# 西医学部ウォーカー

1面：医学部長寄稿・最終講義  
2面：退官にあたって  
3～5面：唐牛記念医学研究基金  
　　医学部学術賞  
　　附属病院診療奨励賞  
　　国際化教育奨励賞  
6面：研究室紹介／細菌学講座  
7面：公開講座 健康・医療講演会  
8面：図書館絵画案内  
　　題字 弘前大学長 遠藤正彦氏筆

医学部長寄稿

# 弘前大学運営諮詢問会議の 答申を受けて

A black and white portrait photograph of Dr. Toshiaki Kondo, a man with glasses and a suit.

されただわけではありませんが、すべてが現在進行形で更にもう一工夫を乗せ、容の充実とレベルアップを求められております。とは常に見直しが必要なり、修正を加えながら、なければなりません。

たゞこの其の改革が、内閣の進歩的改革であると認められ、國會はこれを承認せん。

い。最近になり、ようやく活性化してきた学内外との共同研究の成果を大いに期待したい。医学科が弘前大学の研究レベル引き上げ牽引車となる意気込みで張って欲しいのです。

社会貢献においては、全国的には地域社会への具体的には、

申題を得る

医学科として高い評価を得た事は、これまでの諸  
題に取り組んできた我々の姿勢は正しいもの  
であり、その上に更なる努力を要請されたものと受け  
てあります。

療部の新設である。教授・助教授・講師・助手・技師及び看護師各一名がつけられたが、全て病院定員よりの振替である。総合診療部をいかなるコンセプトで足させるか、病院将来計画

開始した。将来的には今内示された救急・災害医講座、救急部、更に卒後医学研修センターとのコラボレーションが必要であろう。一方、医療情報システムの完全な更新が認められた。

字回。本臨ム。官配置が根本的に考え直される時期であろう。この、についても病院将来計画員会ではワーキンググル  
ープを設置し検討を開始した。

平成十四年十二月二十五日に弘前大学運営諮詢会議が「大学改革の流れの中で弘前大学をどう見るか」――弘前大学の現状評価――についての答申を得ました。内容については大学のホームページに掲載されていますので、すでに目を通した事だと思います。内容はかなり厳しいものでした。その中で医学部医学科に関しては、これまでの様々な事柄に対し医学科が取り組んできた姿勢には一定の評価がなされて喜ばしい事であると同時に、今までの取り組みが正しかったということで、更なる自信を与えてくれました。

しかし喜んでばかりいられません。評価されたということは、逆な見方をすれば今後の我々の遭遇する多くの問題に対する取り組み方に、周囲からの注目度が高まるが故に更なる厳しい評価が下されるということです。今まで取り組んできただ多くの事柄は、未だ完成

今回 全学的に指摘された教育に関する項目の中の学習効果という点では、学科の場合は評価項目の一つとして医師国家試験の合格率があげられます。新規卒業生の合格率は九十五%前後で、ほぼ満足出来る結果を残しています。学生の授業に対する満足度も、学生による授業評価の結果から見て悪い結果を示してはいません。授業に関しては今後コアカリキュラム、クリニカルクラークシップ、チュートリアルシステム等の導入により更に大きな改革がなされようとしています。

学的には地域社会への具体的貢献が不十分との評価が下されています。医学科としては高い評価を得ました  
が、地域医療に対する社会的責任の重大さの指摘は重く受け止めなければなりません。  
地域医療への協力問題に端を発した医局問題で、特に全国の大学に先駆けて行つた医局廃止は各方面から注目され、我々の今後を取り組みが全国的に注目を集めしており、しっかりと方向性を示さなければなりません。

最 終

工藤一教授（病理学講座）ならびに鈴木重授（脳神経外科学講座）最終講義が、平成十五年七月十七日午後二時から部臨床大講義室で行なった。当日は元学長、現のお顔も見え、開会前会場は満員の聴衆であって立ち見も出るほどの盛りあつた。元村成教授（務主任）の司会で進められた。菅原和夫医学部長のご案内後、附属分館長や医倫理委員会委員長として工藤教授の経歴が紹介された。その後、「剖検室かと題する工藤教授の講義を行なわれた。はじめに二十一年九月に弘前大学部として第一例の剖なされたこと、その後

# 病理学第二講座

## 脳神経外科学講座

十七百二  
み重ねら  
など、本  
生検の歴  
説明され  
検索を担  
形の一剖  
の成因を  
医学的考  
的解釈ま  
見解が述  
聞からデ  
られたこ  
地から、  
する剖検  
モデル動  
味深い知  
べ。  
の講義が行なわれ  
の手術件数の年次を  
をご披露の後、御  
門のくも膜下出血  
伴う脳血管攣縮に  
する研究の歩みに  
いてお話をなされ  
学位論文の作成過  
での思わぬ觀察結  
やその後の留学、  
して弘前での脳神  
外科の設立と運営  
加え、決して本道  
失うことのない研  
の進め方と問題の  
決方法に、はつと  
せられた聴衆が多  
つたのではないか  
か。今も国際会議  
シンポジストを務  
られる鈴木教授の  
弁に会場は沸き、

文部科学省  
概算要求内示事項

附屬病院長 鈴木唯司

これは全国的な更新の一環のようで、既にどのようにシステムにするか委員会の検討が開始されている。詳細は未定だが、電子カルテの導入まで朝寺される

## 退任にあたつて

# 「三本の樹の話」をどうぞ

病理学第二講座 教授 工藤



今、保健学科の建物が建築中だ。建築工事が始まる前は高いセメントの壁が設け

長と何かの折に話になつた。どうにか出来ないものか、それは思案顔であつた。その樹は今広くなつた医学部

正門の横に見ることがで  
きる。秋には染みに入る赤い実  
と紅葉をみせてくれる。も  
つともつとある。ナナカマ

担当する委員会だけではあることではない。この学部の構成員、皆が直接間接に関係していることなのだから最も印象に残るのは管理課や施設部の実務を担当する事務部の方々の意識の変化だ。万歳。当事者はきっと

退官にあたつて

弘大での三十年間

脳神経外科学講座 教授 鈴木重晴

この三月三十一日で定年になる。決まりだ。「お世話になりました。ありがとうございます。益々のご発展をお祈りいたします」、それには尽きる。だが一言。あるいはご存知ない方もいるかも知れないと思い、また、我が医学部の側面はここまで来たことを知つていただいて、去りたい。そのような想いで退任の記としたい。

「三本の樹の話」だ。この医学部には環境整備委員会がある。委員長は中根明夫教授、副委員長は黒田直人

新聞社であつたのだが、その敷地内にあつた樹だ。医師建築時、予定では伐採だったのに、切るに忍びず途中で移植したものだ。保健学科新築でそこもまた追われることになった。切る、駄目。環境整備委員会で大論争になつた。今、この樹は南糖グランドから救急部へ入つた左手の第一病棟横の斜面にある。心配したが、立派に緑豊かな姿を見せてくれている。

二本目の樹。朝、病院前の木通りは病院を訪れる

教授だ。もともとこの医学部は広大な原野に、どうだと言わんばかりにつくられたものではない。だから、当初から環境には苦労してきた。今も苦労に苦労を重ねている。しかも、教育環境のほかに、病む人のための病院もある。それが一体化した命に携わる場だ。

一本目の樹。保健学科が新設になった。うれしい。それに伴つて新築となつた中央診療棟と短期大学部校

車の本町通には病院を訪れる  
車の列がつづく。少しでも  
駐車場を確保したい。医学  
部二科になり医短校舎前は  
来院の駐車場になつた。そ  
のアプローチの途中に何杉  
かの立派な樹がある。設計  
図の案では伐採だ。あきら  
めた。でも、今も見事な姿  
をみせている。アプローチ  
を変えたのだ。さすが、ブ  
ロ。

「退官」に関して寄稿せよ  
とのご下命を頂きました。  
停年退官を一年後に控え、  
充分その域に達しているにも  
拘わらず、未だその心境  
に至らず苦慮致します。

通じたことないように思います。  
座 자체については、医学部  
五十周年史に記載がある  
ので、ここでは私事主体に  
させて頂きます。

五病床という状況には、他市施設へ向かう救急車のサインレン音等に随分寂しい思いをした憶えがあり、専門医教育施設としての評価の際、当該委員会で問題とされたが手術数が充分故不問に伏されたとも聞いていました。機会を見ては増床を頂上申しましたがあまり相手にされず、二十床として頂いた橋本元病院長には今でも感謝しています。ただ、あらゆる場面で多くの人々

云われた力であったこと及び大学院での研究テーマが「脳血管攣縮」(VS)であつたこと等から自分自身も「血管屋」であると感じて過ごしてきました。弘前着任後暫くは血管とは多少離れ、造影剤に関する実験などに着手し、髄液腔への非イオン性造影剤応用などを本邦では先駆けた報告などを書いていましたが、走査型電子顕微鏡によるくも膜下腔観察あたりから再び脳血管障害特に「くも膜下出血」

全ての名前を挙げさせて顶いて御礼を述べたいのが偽らざる心境です。

学生時代柔道、野球、スキーの三部に属し、未だにO B会費に悩まされ続けてゐる旨は以前何かに書きましたが、属したが故に得た知己・人脈や、訪れ得た各地の想い出は心の宝ですが、弘大でもその恩恵から多くの方の宝が得られました。柔道部の先輩であつた前小児科医学教授の故横山先生から引き継がせて頂いた準硬式野

四半世紀以上の三十年間に得た事柄はまだまあいりますが、ご指示頂いた紙面も尽きましたし、これからも皆様にはお世話になりますが、ご面倒をお掛けしながらお付き合い頂く所存でありますので、今後とも宜しく御願い申し上げ、この辺で筆を置かせて頂きます。

弘前大学、特に医学部と附属病院の着実なご発展を心より祈念致します。

ドの向いのもみじの大木も  
そうだ。

つらいことがあつたに違いないことを思うとなお更だ。

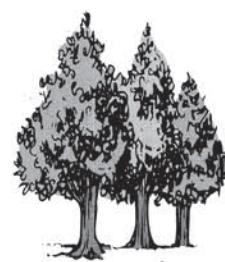
への接点を見いだし、更に  
一九七八、七九年のテネシ

球部々長では僅か六年の左任中に三連続を含む四度の

全ての名前を挙げさせて顶いて御礼を述べたいのが偽らざる心境です。学生時代柔道、野球、スキーの三部に属し、未だにO B会費に悩まされ続けてゐる旨は以前何かに書きましたが、属したが故に得た知己・人脈や、訪れ得た各地の想い出は心の宝ですが、弘大でもその恩恵から多くの方の宝が得られました。柔道部の先輩であつた前小児科医学教授の故横山先生から引き継がせて頂いた準硬式野球

四半世紀以上の三十年間に得た事柄はまだまあいりますが、ご指示頂いた紙面も尽きましたし、これからも皆様にはお世話になりますが、ご面倒をお掛けしながらお付き合い頂く所存でありますので、今後とも宜しく御願い申し上げ、この辺で筆を置かせて頂きます。

弘前大学、特に医学部と附属病院の着実なご発展を心より祈念致します。



つらいことがあったに違いないことを思うとなお更だ。  
便利さだけが進歩ではない。豊かな気持ちを与える  
不自由さはそれ以上の進歩なのだ。そう信じている。  
このような気持ちを持ちながら去れることに、心から感謝している。

への接点を見いだし、更に一九七八、七九年のテネシー大学脳血管研究センター留学を契機に文字通り本來の領域に戻れたようでした。これらの経過に岩渕前教授のご配慮が大きいことは云うまでもありません。その後の研究継続には教室の仲間達の努力により

球部々長では僅か六年の在任中に三連続を含む四度の東医体優勝と三度の全医体優勝を味わえ、実質的にはコンパ要員に過ぎない柔道スキー両部の顧問に加えて頂き、そこに居なければタラスの中の一学生としか知り得なかつた多くの学生達

## 第21回唐牛記念医学研究基金助成対象者

### 助成金A

- 「サイボーグ型プロテオグリカンの作製」  
生化学第一講座 教授 高垣 啓一 ……3,500  
「脳内細動脈のリモデリングの可能性」  
—クモ膜下出血後の脳循環障害における意義—  
脳神経外科学講座 講師 大熊 洋揮 ……3,500

### 助成金B

- 「ヒアルロン酸合成抑制剤を用いた抗線維化療法の開発」  
生化学第一講座 助手 柿崎 育子 ……500  
「1型糖尿病性神経障害の成因におけるインスリン受容体発現とシグナル異常の役割」  
附属病院検査部 講師 杉本 一博 ……493

## 第7回弘前大学医学部学術賞受賞者

### 学術特別賞

- 「難治性帶状疱疹後神経痛に対する新しい治療法と病態の研究」  
附属病院麻酔科 講師 小谷直樹

### 学術奨励賞

- 「Efficacy of double filtration plasmapheretic cross-circulation using a high permeability membrane between totally hepatectomized dogs and donor pigs (ハイパフォーマンス膜を用いた二重濾過異種血漿交差灌流による肝機能補助効果の検討)」  
外科学第二講座 奈良昌樹 (現・むつ総合病院外科)  
「Enzymatic attachment of glycosaminoglycan chain to peptide using the sugar chain transfer reaction with endo-β-xylosidase.」  
生化学第一講座 石戸圭之輔 (現・市立函館病院外科)

## 第5回弘前大学医学部附属病院診療奨励賞受賞者

### 診療技術賞

- 「小児悪性固形腫瘍の集学的治療体制の構築」

照井君典 高橋良博 佐々木伸也 工藤耕(小児科) 須貝道博(小児外科)  
青樹昌彦 三浦弘之(放射線科) 大熊洋揮(脳神経外科) 對馬敬夫(第一外科)  
一戸学(耳鼻咽喉科) 間宮和久(眼科) 村岡正敏(麻酔科)

### 診療技術賞

- 「当科における術後在宅化学療法の意義」

—末期癌患者のQOL向上を目指して—  
村田暁彦 小山基 渡邊伸和 西澤雄介 中澤秀明 中井款(第二外科)  
久保田昭子 福士明美 田中くに子(看護部)

## 第6回弘前大学医学部医学科国際化教育奨励賞受賞者

脳神経外科学講座 助手 嶋村則人

このたび第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Aを賜り、大変ありがたく、関係の皆様に厚くお礼申し上げます。研究について簡単に紹介させていただきます。

近年の遺伝子工学は、多数のリコンビナントタンパク質に、この度、第二十一回唐牛記念医学研究基金助成Aを賜り、大変ありがたく、関係の皆様に厚くお礼申し上げます。研究について簡単に紹介させていただきます。

近年の遺伝子工学は、多

数のリコンビナントタンパク質の生産を可能にし、医薬品等に利用する道を拓きました。しかし、これらの糖鎖は、細胞間の認識や

エチジウムのように糖鎖が欠落している、あるいは不完

全なため、その生理活性や安定性に問題がある例が多

感染、免疫、発生、再生などに深く関与しております。

このたび第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Aを授与いただき大変ありがとうございます。以下にこれまでの研究経過と本助成金での研究計画を述べさせていただきます。

このたび第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Aを授与いただき大変ありがとうございます。以下にこれまでの研究経過と本助成金での研究計画を述べさせていただきます。

このたび第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Aを授与いただき大変ありがとうございます。以下にこれまでの研究経過と本助成金での研究計画を述べさせていただきます。

このたび第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Aを授与いただき大変ありがとうございます。以下にこれまでの研究経過と本助成

金での研究計画を述べさせていただきます。

この

## ヒアルロン酸合成抑制剤を用いた抗線維化療法の開発

生化学第一講座 助手 柿崎育子

この度は、第二十一回唐牛記念医学研究基金の助成を賜り、関係の方々に厚く御礼申し上げます。対象となりました研究について少し紹介させていただきます。哺乳動物の種々の組織で産生されるヒアルロン酸は、血栓の形成や臓器の病的な線維化の過程で過剰に蓄積し、病変の悪性化と密接に関わっています。この蓄積



みちのく銀行会長（右）と談笑する関係者（左から杉本講師、柿崎助手、医学部長、高垣教授）

## 第7回 医学部学術賞

### 難治性帶状疱疹後神経痛に対する新しい治療法と病態の研究

第二十一回 唐牛記念研究基金助成B

附属病院麻酔科 講師 小谷直樹

このたび第七回弘前大学医学部学術特別賞をいたしました。以前この賞を受賞なされた方々はすべて世界的研究をなさつており、その

### 1型糖尿病性神経障害の成因におけるインスリン受容体発現とシングナル異常の役割

附属病院検査部 講師 杉本一博

このたびは第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Bを賜ることとなり、選定して頂いた諸先生に感謝を致しますと共に、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。現在、本邦における糖尿病患者数は約七〇〇万人、すなわち全人口の五%超に存じます。この高い罹病率を持っています。この高い罹病率を持つ糖尿病は、疾患特異的な原因となつております。

このたびは第二十一回唐牛記念医学研究基金助成金Bを賜ることとなり、選定して頂いた諸先生に感謝を致しますと共に、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。現在、本邦における糖尿病患者数は約七〇〇万人、すなわち全人口の五%超に存じます。この高い罹病率を持っています。この高い罹病率を持つ糖尿病は、疾患特異的な原因となつております。

化社会において問題となつてゐる動脈硬化や肝疾患の補助療法へ応用するための基礎的研究を行うことを考え、この研究課題が助成の対象になりました。新教室

新教授の高垣啓一先生とともに助成を受けられたことで感激しており、同時に心が引き締りました。これ

を励みにいたしまして、一層努力する所存です。

最後になりましたが、生化学第一講座でご指導くださいました前教授の遠藤正彦先生はじめ、これまでにお世話になりました諸先生方に、この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

弘前大学医学部の中では、すばらしい研究をなさつてお仲間になれたことは大変名誉なことと感じている。

今回の受賞対象となつた研究は十年以上続けてきた分野であり、長く続けてきて本当に良かったと思う。

授賞対象となつた研究の授賞対象となる論文（New England Journal of Medicine 2000;343(21):1514-9）は、腰椎椎間膜下腔への酢酸メチルプレドニゾロン投与の治療効果および副作用を、難

しかしながら、神経障害は進行性かつ難治性で、高血糖は正常のみではその発症及び進展を十分抑制することができ難いことも解つてきました。またインスリン欠

乏性の1型糖尿病とインスリン抵抗性の2型糖尿病では、たとえ同程度の高血糖を示しても、それぞれに特異的な神経障害を有することも報告されており、これらの所見は高

血糖以外の要因が神経障害の成因に関わっている可能性を示唆しております。今

### 学術奨励賞

#### Efficacy of double filtration plasmapheretic cross-circulation using a high permeability membrane between totally hepatectomized dogs and donor pigs (ハイパフオーメンス膜を用いた二重濾過異種血漿交差灌流による肝機能補助効果の検討)

外科学第一講座 奈良昌樹  
(むつ総合病院外科・医師)

この度は学術奨励賞という榮誉ある賞を頂き誠にありがとうございました。現在急に肝不全に対しても肝移植が行われていますがドナ

ー不足という問題は解決されておらず、そのため将来の異種移植を目指した研究が多数行われています。我々はイヌ全肝切除モデルに対し分子量に着目したブタとの血漿交差灌流を施行し異種移植における問題点であ



学術特別賞を授与される小谷講師

多くの患者を紹介していた

者を対象として、二年間追跡調査した研究である。治療の強度と範囲、および鎮痛薬の服用量が著明に減少した。治療による合併症はなかった。今回の研究から疼痛と炎症との深い関連性が示唆される。今後疼痛と炎症反応との関係を遺伝子レベルまで遡って研究していく所存である。

弘前大学医学部の中では、すばらしい研究をなさつてお仲間になれたことは大変名誉なことと感じている。今回の受賞対象となつた研究は十年以上続けてきた分野であり、長く続けてきて本当に良かったと思う。

弘前大学医学部から世界的研究を発信することは決して困難ではないと思う。

最後にこの紙面を借り、この研究では、1型糖尿病モデル動物を用いて、インスリンの欠乏から惹起される末梢神経におけるインスリン受容体の発現とシングナルの異常が、このモデルの研究では、1型糖尿病に認められる神経障害の発現及び進展に関与する可能性について検索を行うものであります。今回の研究における仮説は正しいのか、仮に正しくとも実験として成功できるのか、日々不安と期待が入り交じる思いであります。ですが、今回の名譽ある受賞を励みに今後も研究を続け、この治療困難で高い罹病率を持つ合併症の理解に少しでも貢献できればと願っております。

(前ページより)  
る超急性拒絶反応や異種ウイルス感染を克服しようとした半透膜を使用し交差灌流を行いました。これらに関与する物質の多くが分子量十万以上を有することから、分子量によって選択性をもつた半透膜を使用し交差灌流を行いました。充分な解毒能を有し生存時間の延長万以上を有することから、

試みました。これらに関与する物質の多くが分子量十萬以上を有することから、分子量によって選択性をもつた半透膜を使用し交差灌流を行いました。これらに関与する物質の多くが分子量十萬以上を有することから、

思っています。  
最後にこの研究を支えて頂いた第二外科講座の佐々木陸男教授をはじめ諸先生方に深く感謝申し上げます。

## 学術奨励賞

Enzymatic attachment of glycosaminoglycan chain to peptide using the sugar chain transfer reaction with endo- $\beta$ -xylosidase

生化学第一講座 石川圭之輔  
(市立函館病院外科・医師)

このたびはこのような栄誉ある賞を頂き、学術賞選考委員の先生方、及び関係者の皆様に心より感謝申しあげます。私の携わった研究がこのような高い評価を得られたことに感激しております。

現在の遺伝子工学のめざましい発展により、人類にとって有用なタンパク質の量産が可能となつております。しかしながら、この遺伝子組み替えによって产生されるタンパク質、例えば、インターフェロンのようなリコンビナントのタンパクをターンパク質(ペプチド)グリコサミノグリカン糖鎖をターンパク質(ペプチド)をターンパク質(ペプチド)へ導入することに成功しました。私はこの反応に糖鎖があるためその生理活性に問題がある例が多數報告されております。これは遺伝子組み替えによって導入されるDNAには、糖鎖の合成に関する直接的な情報が組み込まれていないためあります。そのため、協力いただいた諸先生に、遠藤正彦前教授ならびに御

感謝申し上げます。  
ク質に導入するという手法

## 第5回

# 弘前大学医学部附属病院診療奨励賞

## 診療技術賞

### 小児悪性固形腫瘍の集学的治療体制の構築

小児科 照井君典  
高橋良博  
佐々木伸也  
工藤耕博  
小児外科 須貝道博  
放射線科 青木昌彦  
耳鼻咽喉科 大熊洋揮  
第一外科 對馬敬夫  
麻酔科 村岡正敏  
眼 眼科 間宮和久  
看護部 渡邊伸和  
福士明美  
田中くに子

### 当科における術後在宅化学療法の意義 —末期癌患者のQOL向上を目指して—

この度は診療技術賞を頂きました。誠にありがとうございます。

ささらに診断、手術に際して放射線診断科、病理部、麻醉科との協力が必要です。

当院でも以前は各科で

小児の悪性固形腫瘍の多

くは化学療法、放射線療法

に感受性があり、集学的治

療が非常に有効です。造血

幹細胞移植が導入されたこ

ともあり、現在では小児科、

小児外科、放射線科を中心

とした集学的治療により、

小児がん専門医を中心とし

たチームによるエビデンス

に基づいた集学的治療を受

けています。その結果、青

小児がんの約七十%が治癒

するといわれています。

また小児悪性固形腫瘍は

全身のあらゆる部位から発

生するため、脳外科、眼科、

耳鼻科、胸部外科など様々

な科との連係が重要です。

## 診療技術賞

# 国際化教育奨励賞

## 脳神経外科学講座 助手 岩村則人

この度は、国際化教育奨励賞に選定していただき、まことにありがとうございます。関係各諸先生方に深く感謝申し上げます。

鈴木重晴教授の門を叩いて、脳神経外科学をゼロから学んで参りました。その後、大学院では関谷徹治助教授の下、「蝸牛神経圧迫損傷によるラセン神経節細胞の逆行性変性過程の研究」を行い、論文発表や国内外での学会発表をする機会になりました。このたび、

Shreveport校 脳神経外科

John Zhang教授の下へ研究

留学する機会を与えていた

だき、平成十五年九月より

一年間渡米する予定となりました。

留学中は、基礎研究が主

体ではありますが、血管内

手術と頭蓋底手術の

authorityが居るため臨床見

学も兼ねたいと思つており

ます。また、医学教育・医

療システムの日本との違い

を直接見て・感じて、帰国

後の学生教育に生かしたい

と思います。

また、医学教育・医

療システムの日本との



# ジャマイカ・プロジェクト 最終評価調査団報告

脳研脳血管病態部門 教授 佐藤敬

に入つた。ニューヨークも既に真冬の併まいでの、いきなり真夏のキングストンに降り立つた訳である。

首都キングストンで大使館表敬訪問とJICA事務所での打ち合わせをした後、プロジェクトが実施されているマンデビルへと移動して最終評価のための調査とワークショップを行い、再びキングストンに戻つて、議定書の作成と署名を行い、またニューヨーク経由で帰つて来た。終始三田先生とご一緒させて頂いた。プロ

ジエクトは当初予定された成果のほとんどを達成し、極めて成功であったと掛け値なく評価され、残された一部の目標も残りの期間で十分達成可能と認められた。一言で表現すると、マンデビルを中心としたジャマイ



ミニッツ調印式：前列左から保健省事務次官、佐藤、三田先生、企画庁局長  
三田先生の後ろは大塚大使

十二月二日にキングストンのホテルで挙行された調印式には大使も出席され、全国版ニュースとしてテレビと翌々日の新聞にも大きく取り上げられた。私は調査団団長としてスピーチし、ジヤマイカ政府代表の保健省事務次官、企画庁局長とともに議定書に署名したが、なんとなく場違いの感じがした。

三田先生はお元気の様子で、忙しい二週間ではあつたが、休日には有名なりゾートへも案内して頂いた。また、弘前大学医学部と国際協定を結んでいる西イングランド大学医学部の窓口として本学にも来られたペイン教授ご夫妻とも会食の機会を持つことができ、実り多いジャマイカ訪問であつた。



熱弁をふるう奥村謙教授（スカルイン黒石）

**前ページより)**  
厳密な対応が必要である。

偽造された英國人研究者の紹介状を用いて侵入することに成功した。その際、内部を撮影したり、研究者の実験ビデオなど資料を持ち出し、昨年六月インターネットのサイト上にこれらの写真を公開した。その際、当該施設におけるハンチンドン社と関係のない動物までハンチンドン社と関わりがあるよう述べたり、「動物を虐待」しているなど、事実を歪曲した情報を流している。さらに「これは日本での動物実験の攻撃の手始めだ」と新聞社の取材に応じている。S H A C は、その幹部がハンチンドン社員

に殺人予告をして懲役刑を受けたり、同社の取引銀行などを脅迫するなど、その過激な活動が英國で社会問題化しており、このメンバーに対し本学でも厳重な注意が必要である。

いえる。反対運動は、サル・イヌ・ネコなどのみならず脊椎動物全体を対象にしており、遺伝子組換え反対運動とも連動して、マウス・ラットも実験禁止運動のターゲットになつていていることを認識されたい。今後、本学においても、各研究者が動物実験指針を厳正に遵守し、適正な動物実験を行うことに一層の注意を払うことが必要である。他方、動物実験の必要性・正当性を設にのみならず、一般の方々にも、あらゆる機会をとらえて強くアピールする継続的な努力が必要と考える。

青森県内の基幹病院との共催で行われている医学部公開講座関連講演会、いわゆる出前公開講座は関係者の絶大なご支援のもとに本年度分を無事終えることができた。本年度最初の講演会は、黒石病院（院長 奈

「は、黒石病院脳外科部長の真鍋宏博士が担当され、次いで弘前大学側からは、奥村謙教授にお話しいただいた（写真）。おふたりとも豊富な動画を供覧され、聴衆は驚かれた様子。内容

身の先生方の宣伝も手伝つて参加者は約百名になつた。保嶋先生からは最先端の遺伝子診断のお話と弘前大学の最新のお仕事が紹介された。本来難しい話ではあつたが、保嶋教授のクリア、かつ優しいお話で一般聴衆

衆は終始熱心に聞き入つていた。この度の講演会を通じて一般市民の関心が「健康医療講演会」に対して予想外に高いことを改めて感じた。また、各基幹病院の先

(前ページより)  
厳密な対応が必要である。

偽造された英国人研究者の紹介状を用いて侵入することに成功した。その際、内

に殺人予告をして懲役刑を受けたり、同社の取引銀行などを脅迫するなど、その過激な活動が英國社会に

いえる。反対運動は、サル・イヌ・ネコなどのみならず脊椎動物全体を対象にして

# 十四年度 健康・医療講演会終了

(出前公開講座)

公開講座推進委員長 花田勝美

のもと二月二十五日（土）  
三沢市公会堂で開かれた。

## 書庫が少し広くなりました

医学部図書館の根幹は雑誌・図書の「時差集中化」です。図書委員会で議論に議論を重ねた結果です。もう実施して六年になります。经费を負担し、最も利用したい講座部門には置いて、その後、図書館へ。ホームページをみると何處に雑誌があるのか分かるようになります。その流れがしばらく止まつ

てきました。今回、集密書庫を置いた一部屋を設けることが出来ました。長らくお待ちいたいた講座・部

前回の本欄で、図書館の特別展示会でご覧いただい

たノーベル医学生理学賞関連コレクションが採択になつたことをお知らせした。

松木先生が来室され、貴重な本や論文の管理と活用の

門の雑誌図書の図書館への本来の流れが動きだしました。講座・部門の図書の移管をお考えの場合、ご相談ください。将来、同じ問題が生じることで

よろしくお願ひいたします。

## 松木教授からプレゼント

弘前大学医学部五十周年記念アンサンブルならびに弘前大学医学部管弦楽団による恒例のクリスマスコンサートが附属病院外来待合ホールでさる十二月二十日に開催された。会場には開会前から多くの患者さんや職員が訪れ、新川秀一病院長補佐の開会挨拶に引き続き馬場正之神經統御部門助教授の司会で、新川教授と医学部四年中澤かほりさんにによるヴァイオリン演奏、馬場助教授のリコーグター独奏などが約一時間にわたり行なわれた。曲目としては早川正昭作曲バロック風「日本の四季」より「冬」、アルビノーニ作曲リコーダ協奏曲、コレルリ作曲クリスマス協奏曲、ダウランド作曲「あるれよ、わが涙」などの後、おなじみのクリスマスにちなんだ聖歌メドレーなど心和ませる曲が演奏された。外来ホールを埋めた約百名の患者さんは時間のたつのも忘れ終始なごやかな表情で生演奏を堪能した。

弘前大学医学部五十周年記念アンサンブルならびに弘前大学医学部管弦楽団による恒例のクリスマスコンサートが附属病院外来待合ホールでさる十二月二十日に開催された。会場には開会前から多くの患者さんや職員が訪れ、新川秀一病院長補佐の開会挨拶に引き続き馬場正之神經統御部門助教授の司会で、新川教授と医学部四年中澤かほりさんにによるヴァイオリン演奏、馬場助教授のリコーグター独奏などが約一時間にわたり行なわれた。曲目としては早川正昭作曲バロック風「日本の四季」より「冬」、アルビノーニ作曲リコーダ協奏曲、コレルリ作曲クリスマス協奏曲、ダウランド作曲「あるれよ、わが涙」などの後、おなじみのクリスマスにちんだ聖歌メドレーなど心和ませる曲が演奏された。外来ホールを埋めた約百名の患者さんは時間のたつのも忘れ終始なごやかな表情で生演奏を堪能した。

# クリスマスコンサート

## 開催される

### 編集後記

「諸悪の根元とされた医局制度を廃止する」という大

方針とともに当教室でもこれまで五十年來何気なく用いてきた色々な呼び名を変更することになった。形式的かもしれないが、とかく外部の眼は形式みて内部を推し量るものである。「医

局会」は「講座運営会議」もしくは「教室会」、「医局」と呼んだ部屋を「集会室」、同じく「医局」と呼んだ研究室、「医局員」を「講座構成員」もしくは「教室員」とすることにして、さて「医局長」はどうするかと悩んだ。正規の任務からすると「教室員の勤務時間管理者」であるが長すぎる。ちょうど良い呼び名がないので、苦肉の策として「組長」とすることに。しかしこれでは外部の評価に耐えられまい。「医局制度をなくして暴力団まがいの集団へ」などと言われば元も子もない。

そこで「室長」という呼び

方になった。これだと何となくノーベル賞の田中耕一

氏を連想させる爽やかさが感じられる。学問の府としてまことにふさわしい。しかし、呼び慣れない名称は使うのがおづくうでかなわない。いまだに誰もこの言葉を使っていないようであ

る。

呼び慣れないと言えば、

最近「セクハラ」ならぬ「ド

クハラ」という単語ができ

たそうだ。**Doctors**

harassmentの略で医師から

の虐待という意味である。

誰でも心に思っていること

が言葉として口から出るの

である。医師とて同じこと。

言葉は心の鏡である。意識

せねばなるまい。言葉と言

えば「わたしはそのような

答えられません。」と昭和天皇は記者会見で言われた。

戦争責任かなにかの微妙な

質問だつたし相手が日本の

馬鹿にしている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も

恐らくユーモアあふれる答

えだと少しは賞賛されるか

もしれない。しかし、相手

が日本の責任ある立場の人

だつたら「無責任、国民を

辱めている、不敬罪も

の」などと散々言われるの

かも知れない。相手に合わ

せるのが日本の文化である。

馬鹿にしている、不敬罪も